

(別紙1)

事業報告書

事業名	親子お遍路ウォーキング
申請分野	分野指定寄附（子ども分野）
目的	※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。 香川県の小中学生とその保護者を対象に日帰りで歩き遍路体験ができるイベントで、2年間で香川の全霊場を巡る。 1,200年続いてきたお遍路文化の魅力を次世代を担う子供達へ伝えることを目的としている。このイベントでの経験を活かして遍路やお接待を自分自身で行なうことも期待する。
事業実施の地域及び対象者	※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。 香川県内の遍路道と霊場寺院 一般応募の小中学生と保護者(父母や祖父母など) スタッフを含めて各回50名程度
具体的な事業内容	※実施した事業内容について、具体的に記載してください。 香川県内の遍路道を2年8回で66番雲辺寺から88番大窪寺までを歩き、霊場寺院をお参りする。1回に10km～15km程度を歩く。参加者は一般から募集する。 朝集合受付の後注意事項を確認し準備運動をして歩き始める。保護者は必ず責任を持って子供を引率する。昼食は弁当持参で摂る。途中、お接待を受けるように準備し、遍路特有のお接待文化にも触れる。途中ケガや体力が続かず、歩けなくなった参加者は伴走車でサポートする。遍路道沿いのゴミ拾いもしながら歩くので、マナーや環境問題について話し合う機会にも繋がる。世界遺産化を目指す四国遍路の優れた伝統を体験すると共に、親子で助け合いながら一日歩くことで助け合いの気持ち、家族間や参加者同士で会話の時間が持てる。
事業実施の果効	※事業の実施がどのように今後の法人活動の活性化や基盤強化につながるのかを具体的に記載してください。 今年度は国分寺から大窪寺まで9霊場を巡り、親子が助け合っ て遍路道を歩き遍路文化・お接待文化を体験し、親子の触れ合 いの時間を持つことが出来た。 イベント後の参加者アンケートでは「先達さんや、スタッフの 皆様が、遍路の作法や歴史的な意味を教えてください、とて も、いい学びの機会になりました。」「初めは長い距離を歩くの を嫌がっていましたが、歩き始めると周りにいる子とお友達に なったり、会話をして歩いたり、楽しんでいました。遍路道は ハードなところも多く大変でしたが、初めて行くお寺や温かい お接待を受けてまた行きたいと言っています。」「お接待は子供 が特に楽しみにしていました。後は安全に配慮して歩きやすい 道を選んでいただいたり、伴走車があるのも安心感がありまし

	<p>た。スタッフの方も明るく話しかけてくださり、とても楽しかったです。」と感想をいただいた。ほとんどの参加者が来年度も引き続き参加したいと希望している。</p>
備 考	<p>※その他、特にPRしたいこと等があれば記載してください。 NPO ブログで各回写真付きでイベント報告を掲載している。 https://omotenashi88.ashita-sanuki.jp/ また Instagram や YouTube 等でもイベントの様子を掲載し、時代にあわせた発信をおこなっている。</p>

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
2023 年	2023 年度親子お遍路ウォーキング(全4回)	各回共通	各回共通
9月23日 (土)	第1回 80 番国分寺～81 番白峯寺～82 番根香寺＝JR 高松駅	小中学生 と保護者	第1回参加者：51名
10月14日 (土)	第2回 83 番一宮寺～84 番屋島寺＝ことでん屋島駅・ことでん瓦町駅・JR 高松駅		第2回参加者：59名
11月4日 (土)	第3回 ことでん八栗駅～85 番八栗寺～86 番志度寺		第3回参加者：56名
12月2日 (土)	第4回 87 番長尾寺～88 番大窪寺＝大川バス本社・JR 志度駅・JR 高松駅		第4回参加者：48名
	<p>・記号の説明 ＝は貸切バスでの移動 ～は徒歩での移動(歩き遍路体験)</p> <p>・毎回、9 時前後に現地集合、各霊場でお参りをする。途中、昼食をとりお接待を体験する。16 時前後に現地解散。</p> <p>今年度は2 年計画の2 年目。</p> <p>・当 NPO 理事(大先達)が霊場寺院の紹介、お参りの簡単な作法などを説明する。途中の遍路道の文化遺産についても専門家が説明をする。</p> <p>・参加者にはアンケートに回答して貰い、参加スタッフを交えて常任理事会で振り返りを行なう。</p>		

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施するかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加予定者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★ 150,000	
自己資金計		① + ② + ③ + ④
① 参加料収入	0	
② 会費等	0	
③ 寄附金等	0	
④ その他	158,592	※内容を具体的に記載してください。 NPO 会計事業費より
その他助成金等収入計		① + ② + ③
①補助金収入		
②委託金収入		
③その他	200,000	※内容を具体的に記載してください。 株式会社建設マネジメント四国 協賛金
その他資金収入		
合 計	508,592	

(注)その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
募集チラシ印刷	63,096	60,000	第1回配布チラシ①
募集チラシ送料	36,788	20,000	小学校・図書館へ送付②
貸切バス代	143,100	70,000	貸切バス代 第1回：60,500円③ 第2回：39,700円③ 第4回：42,900円
スタッフ交通費	65,744	0	伴走・下見等
参加証印刷代	13,368	0	
お接待消耗品費	19,864	0	第1回と第2回で実施：延べ 100名にお接待飲料・菓子・果 物
保険料	7,200	0	行事参加者のレクリエーション 保険
トランシーバーレン タル代	44,466	0	
事務費・消耗品費	107,966	0	軍手、拡声器、名札など
人件費	7,000	0	ボランティアスタッフへ支給
合 計	508,592	★ 150,000	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。